



道守九州会議交流会 みちづくし in みやざき2017 事業実施報告書



主催：みちづくし in 宮崎2017実行委員会（道守みやざき会議） 共催：宮崎市

後援：国土交通省九州地方整備局、宮崎県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、福岡市、北九州市、熊本市、（一社）九州地域づくり協会、道守九州会議、九州風景街道推進会議、九州・沖縄「道の駅」連絡会、宮崎日日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、熊本日日新聞社、大分合同新聞社、南日本新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、U-Mテレビ宮崎、日刊建設工業新聞社、（株）日刊建設通信新聞社、九建日報社

※この事業は、平成27年度地域づくり推進事業（道守）の助成を受けて実施しました。



道づくし in みやざき 2017 大盛況のうちに閉幕

29年10月5日（木）から6日（金）の2日間にわたり宮崎市を中心に開催された道守九州会議交流会「みちづくし in みやざき2017」は九州各県から386名の道守さん、関係者が集い盛大に開催されました。

今回の交流会のテーマは「道育」と書いて「どういく」というもの。九州会議が設立されて十数年、発足当初に登録された道守さんたちも高齢化しており、これまでの活動をどうやって地域の次世代に継承していくのか？資金面の課題や、地域や住民との連携に対して、どのように取り組んでいくのかという問題に対し、参加者みんなが知恵を出して、解決策を共有していくという趣旨で開催されました。

「ねぎモン」こと根岸裕孝実行委員長のスティーブ・ジョブズばりの主催者挨拶から始まり、道守九州会議代表世話人の樗木武九州大学名誉教授、共催者の戸敷正宮崎市長、来賓の増田博行国土交通省九州地方整備局長、河野俊嗣宮崎県知事の挨拶に続き、今年度の九州道守会議功労者授賞式が執り行われました。



九州各県から7名の道守さんが受賞！

永年にわたり道守活動を各地で続けられてきた方々に樗木代表世話人から功労賞として賞状と記念品が手渡されました。受賞者は次の通り。写真左から門司港レトロ花の会代表・北里幸良氏／福岡多久市そうじの会（副代表・瀬川武雄氏／佐賀）道守長崎会議（理事・酒井修子氏／長崎）大津町商工会女性部長（山本セツ氏／熊本）道守大分会議代表世話人・桑野和泉氏／大分宮崎空港ビル株式会社（社長・長瀬保廣氏／宮崎）荷馬車組合会長・前田健治氏／鹿児島の名物「豚足」が作られた「輪挿し」が受賞者に贈られました。



現地体験学習会を 3コースに分かれて開催！

翌6日（金）は、早朝から3つのコースに分かれ現地体験学習会を開催しました。生憎の雨模様でしたが、それほど本降りにはならず大勢の方に参加いただきました。

Aコースは「植栽・県庁見学コース」という内容で、宮崎市の中心市街地の国道沿いの花壇に花の植栽を参加者全員で行い、その後、ガイドボランティアによる宮崎県庁の見学会に参加しました。

Bコースは、宮崎市内でオープンガーデンを行っている個人宅の庭園を見学するツアーを実施。NPO法人サンフラワーみやざきオープンガーデンさんのご協力でフローランテ宮崎とオープンガーデンを行っている個人宅を訪問し「花と緑のまちづくり」を視察しました。

Cコースは「道の駅・三駅巡りコース」ということで、道の駅フェニックス、なんごう、酒谷の3つの道の駅を訪問。それぞれの道の駅の駅長さんに、道の駅が地域がどのように繋がりを図っているのか興味深いお話を伺うことができました。お蔭様で昼前から晴天になったのは道守さんの日頃の行いでしょうか（笑）



Aコース
〈植栽・県庁見学コース〉



Bコース
〈オープンガーデン見学コース〉



Cコース
〈道の駅・三駅巡りコース〉



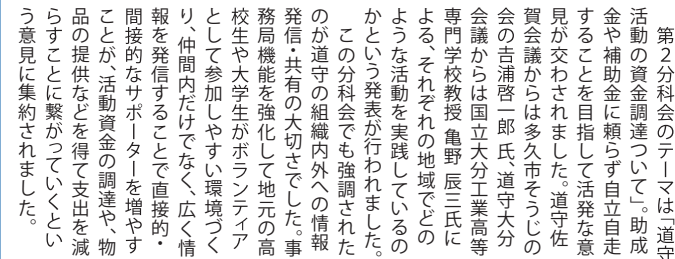
大会宣言 ～道守の明日に向かって～

- ▶ 今日、私たちは、この宮崎の地にて道守活動の課題と未来について率直に語り合いました。
- ▶ そこで私たちは、地域の素晴らしさをお互い再確認すること、道守内外の情報の共有と発信をすること、仲間づくりと人づくりを積極的に行うことを語り合いました。そして、まずはやれることから取り組むことを確認いたしました。
- ▶ 私たちは、災害を乗り越えて、誇りある地域づくりに向かって今日の学びを活かしながら、楽しみながら道守活動をさらに発展させることとしたいと思います。

みちづくし in みやざき 2017 大会実行委員長 根岸裕孝 （道守みやざき 代表世話人）

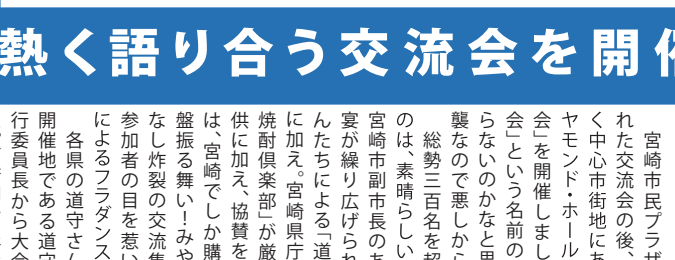
道守の人材確保・育成について

が大切であり、その活動を上
 手に情報発信していくことの
 大切さが新たな賛同者を生み
 出して、地域の警察や消防
 防署等にも声掛けをして輪が
 広がった事例など参考になる
 お話が次々と飛び交い、参加
 した道守さんも大満足な内容
 でした。



道守活動の資金調達について

活動の資金調達について。助成金や補助金を頼らず自立自走することを目指して活発な意見が交わされました。道守佐賀会議からは多久市そうじの会の吉浦啓一郎氏、道守大分会議からは国立大分工業高等専門学校教授 亀野辰三氏による、それぞれの地域でどのような活動を実践しているのかという発表が行われました。この分科会でも強調されたのが道守の組織内外への情報発信、共有の大切でした。事務局機能強化して地元の高校生や大学生がボランティアとして参加しやすい環境づくり、仲間内だけでなく、広く情報を発信することで直接・間接的なサポーターを増やすことが、活動資金の調達や、物品の提供などを得て支出を減らすことに繋がっていくという意見に集約されました。



宮崎市民プラザで午後5時まで開催された交流会の後、午後6時半からは同じ中心市街地にあるMRTミツクのタイヤモンド・ホールに会場を移して「交流集会を開催しました（交流会と「交流集会」という名前の紛らわしさが何とかならないのかなと思いますが、ここは前例踏襲なので悪しからず）

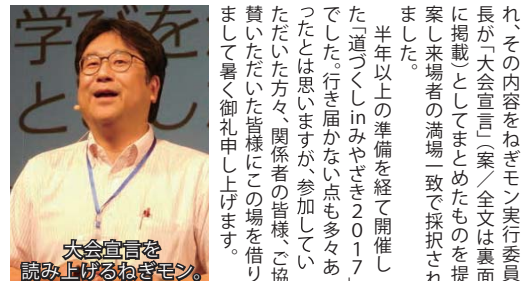
のは、素晴らしいジャズのボーカル。木下宮崎市長のあいさつに続き盛大なる宴が繰り広げられました。各県の道守さんたちによる「道守屋台」も大盛況！これに加え、宮崎県庁の有志による「宮崎縣廳焼酎倶楽部」が厳選した地元の焼酎の提供に加え、協賛を頂いた霧島酒造さんからは、宮崎でしか購入できない「霧島」の大盤振る舞い！みやざきならではのおもてなし炸裂の交流集会でした。その中でも

参加者の目を惹いたのは宮崎公立大学生によるフラダンスのパフォーマンスでした。各県の道草さんの紹介の後、来年度の開催地である道守佐賀会議へねぎモン実行委員長から大会旗の授与が行われました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。また来年、佐賀の地でおいししましょう！

九州交流会も持ち回り、二巡目終盤に近づき、発足から14年を過ぎようとしています。それまでの地域で頑張っている道守さんの活動は増大していく中、新たな課題が生まれつつあります。

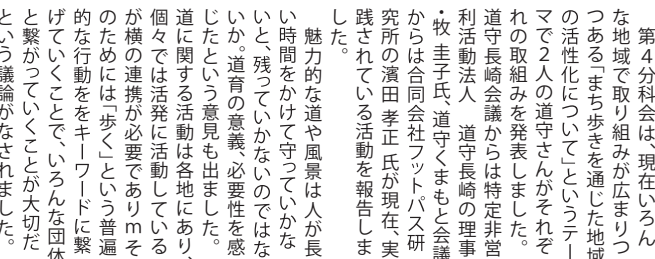
道づくしのみやなぎ2017では、そのような現状を踏まえ、現状の取組みの事例発表を行い、そこから見えてくる課題を抽出、その解決策を共有していくという目的で企画されました。

4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマで熱心な議論が繰り広げられました。言いたいことを言いつばなしではなく、次に繋げていくためにはどうすればよいのかを話し合い全体会でまとめさせていただきました。



らの“道守”について

地域をよくしようという想いはみんな持っているが、それぞれの得意なところを繋いでいく「連携」の必要性が議論されました。その中でも「拠点」を持っている道の駅と、拠点を持っていない道守とがどう繋がるか、やること、持っていくのか、やれること、繋げられるところから取り組んでいくという動きを、まずは始めてみるのが大切だと提



道守と地域の連携について

まち歩きを通じた地域の活性化



道に係る人材を育て、これからの“道守”について熱く語り合う交流会を開催！



J A Z Zと焼酎!!
宮崎ならではのおもてなし!